

平成28年度第1回学校関係者評価委員会報告に示された意見・課題への取組・改善の進め方

基準1 教育理念・目的・育成人材像

1-1-3 評定3 【理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>実習体験、ピアノサポートレッスン、キャリア教育、これだけで豊かな人間性を見につける保育者を養成できるのか。採用する立場として、今の子どもたちが何に興味を持っているか身につけて入ってきてほしい。自然活動がスムーズにできる先生、スポーツやダンスが得意な先生、虫やザリガニが扱えるような先生がほしいと思っている。それを考えると実習体験、ピアノサポートレッスン、キャリア教育などで豊かな人間性を身につけるといふことにどれだけ近づけるのか。同じようなやり方で魅力ある先生が養成できるのか。</p> <p>保育祭でオペレッタの発表を行っていて、一つの特色ある教育活動につながっているのではないかと思います。自己評価報告者に記載されていないのが残念だった。</p> <p>豊かな人間性というところで、共同での取り組みというところが相手の立場を尊重しながら自分の意見も出して共に育ちあうという体験もしているはずですので、評定が4になる可能性があるのではないかと思います。</p>	<p>豊かな人間性というところで、共同での取り組みが相手の立場を尊重し、自分の意見も出して共に育ち合うという意見を頂きました。今後さらに実習体験、サポートレッスン、キャリア教育の充実を図るとともに、授業におけるアクティブ・ラーニングの活用を生かしてそれぞれの学生が得意な分野を持った幼児教育者になれるよう教育活動に取り組んでいきます。</p>
1-1-4 評定2 【社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>評定2は厳しいのではないかと思います。中期的な視点での中期目標を定めていきたいという気持ちが強いのか。</p> <p>職業委託訓練生を受け入れること自体が将来構想を抱いているというふうを受け止めれば3からすすめてみてもいいのではないかと。</p>	<p>保育士不足が続く中、職業訓練委託制度による訓練生の受け入れは大きな役割を果たしていると言える。今後新たな高等教育機関に関する動向に注目し安定した学生募集に努めていきます。</p>

基準2 学校運営

2-5-1 評定3 【人事・給与に関する制度を整備しているか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>給与の問題は難しい。政府は財源がないのに保育士の給与を上げようとしており、赤字国債を発行することで子どもたちのツケになる。受益者負担で保護者からもっともっともいいのではないかと思う。福祉といったら何でも無料だと思ってしまうのではないか。公立と私立の保育士の格差がすごい。何年か前の新聞では東京都の保育士は年間800万とっているが0歳児だと3人しか見ない、一人250万円の人件費がかかる。これでは私立はおいついていかない。政府も同一労働同一賃金と言っているのに、私立がチームワークを組んでしっかりやっついていかないと「足りない」「上げるんだ」という掛け声だけでは足りない、いかに実践していただくか、政治的圧力をかけていかないといけないのかなと思う。</p>	<p>現場からの貴重な意見を頂きました。なお本学は継続して人事・給与に関する制度の整備に努めます。</p>

基準3 教育活動

3-9-2 評定3 【キャリア教育を実施しているか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>2年間で全て身につける、完全な人間を送り出すのは難しい。就職したところで育てていかなければならない。最終的に教育、人を育てるのは誰がやるのか。積み重ねの中でやっていかなければならない。ただ単位をとればいいのか。自分のやる気を育てていく。就職先で教育理念等が現場であるので、どう馴染んで自分の力を発揮できるか就職した先の責任だと思う。</p> <p>就職先でキャリア教育は続いているのではないかと思う。キャリア教育は人生設計のようなものである。</p> <p>専門学校で勉強して就職して7、8年で辞めますという意識がどこに出してしまうのか。理解が出来ない部分があるような気がする。自分が就きたいと思って就いた仕事を5、6年で気持ちが消えてしまうというのはどこに問題があるのか。</p> <p>学生との面接や実習で受け入れたときに、子供が好きという気持ちが強ければ実習でも乗り越えられるが、夢に向かっていくところが低いと気持ちがついていかないと感じました。学生のときに子供と関わることがどれだけ楽しくて、成長を見ることがどれだけやりがいがあるのかと、学生のうちに楽しみながら学んでいくと就職した後どんなことがあっても基本的な気持ち、子どもが好きという気持ちと保育士をやりたいという気持ちがあれば乗り越えられていけるのではないかと思う。子どもが好きという気持ちをもっと高まるような、単位から少し離れた観点から課外活動をいれてみると変わってくるのかなと思う。</p> <p>6、7年でやめていくのは自分の子育ての関係が多い。公立なら保証してくれるが私立は継続していかない。私は新しく保育所をつくったが、幼稚園で勤めたことのある3分の2の職員に子育てが終わる頃に手伝ってほしいと声をかけると手伝ってくれた。自分の子育て期間でやめていくが次のステップを見いだせない人が多いのではないか。</p>	<p>現在2年生前期15回のキャリア教育を実施している。今後内容の充実を図る中で、履歴書の書き方や面接の方法に多くの時間を費やすのではなく、就職してから先の人生設計を見据えた考え方が各個人出来るような指導をしていきます。</p>

3-11-2 評定3 【資格・免許取得の指導体制はあるか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>経済的なものであれば学生も仕方がないと思うが、気持ちの問題でだんだんと学ぼうとする意欲が薄れてくる学生は多いのか。</p> <p>入学してから学生が孤立しない仕組みはあるのか？新卒の学生と既卒の学生の退学する比率は新卒の方が多いのか。</p>	<p>資格・免許の取得条件の一つは卒業である。経済的問題のある学生に対しては分納や延納での対応。精神的問題での退学に関しては新卒の学生がほとんどであるが、教育相談を実施している。また全職員での打ち合わせの際に、各クラスの状況を報告し合い、指導が必要と思われる学生の情報共有を図り対応に努めています。今後多岐にわたるケースに対して臨機応変に対応できる体制を構築していきます。</p>

基準4 学修成果

4-14-1 評定3 【資格・免許の取得率の向上が図られているか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>無料だから受講しない場合もあるのでは？有料にするのも一つの方法では？</p> <p>講師の先生に工夫してもらうことも必要かもしれない。</p>	<p>テキスト代金は受講者負担である。今後公務員試験対策講座に関しては依頼先である東京アカデミーとの内容確認も含めて打ち合わせし最後まで受講できる体制及び合格率の向上に向けて取り組んでいきます。</p>

基準5 学生支援

5-16-1 評定3 【就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>一角をパーテーション等で区切って相談する場所として使用するという考えはあるのか。</p> <p>何日の何時に誰が使うというような表を作り、効果的に使いまわすことは出来るのか。</p> <p>効果的に使いまわすのが難しいというのは、面積要件が減ることなのか。</p> <p>私の園でも面積等を計算しているが、稼働率も考えると全く使わない時間帯もあると思うが、時間を区切って行わないと相談したくても行く場所がないと相談できない。</p>	<p>相談する学生のプライベートの保護に関しては、空き教室の使用方法などを再考し適切に対応していきます。</p>

基準10 社会貢献・地域貢献

10-36-1 評定2 【学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか】	
学校関係者評価委員会からの意見・課題	意見・課題への取組・改善の進め方
<p>改善方策として図書館の解放など身近に出来ることから始めているということなのか。</p>	<p>図書室の地域住民に対する無料開放を8月24日から26日の三日間実施した。今後これを機に図書室以外の施設等に関しましても活用出来よう準備していきます。</p>